

◎本機をご使用になる前に必ずお読み下さい。

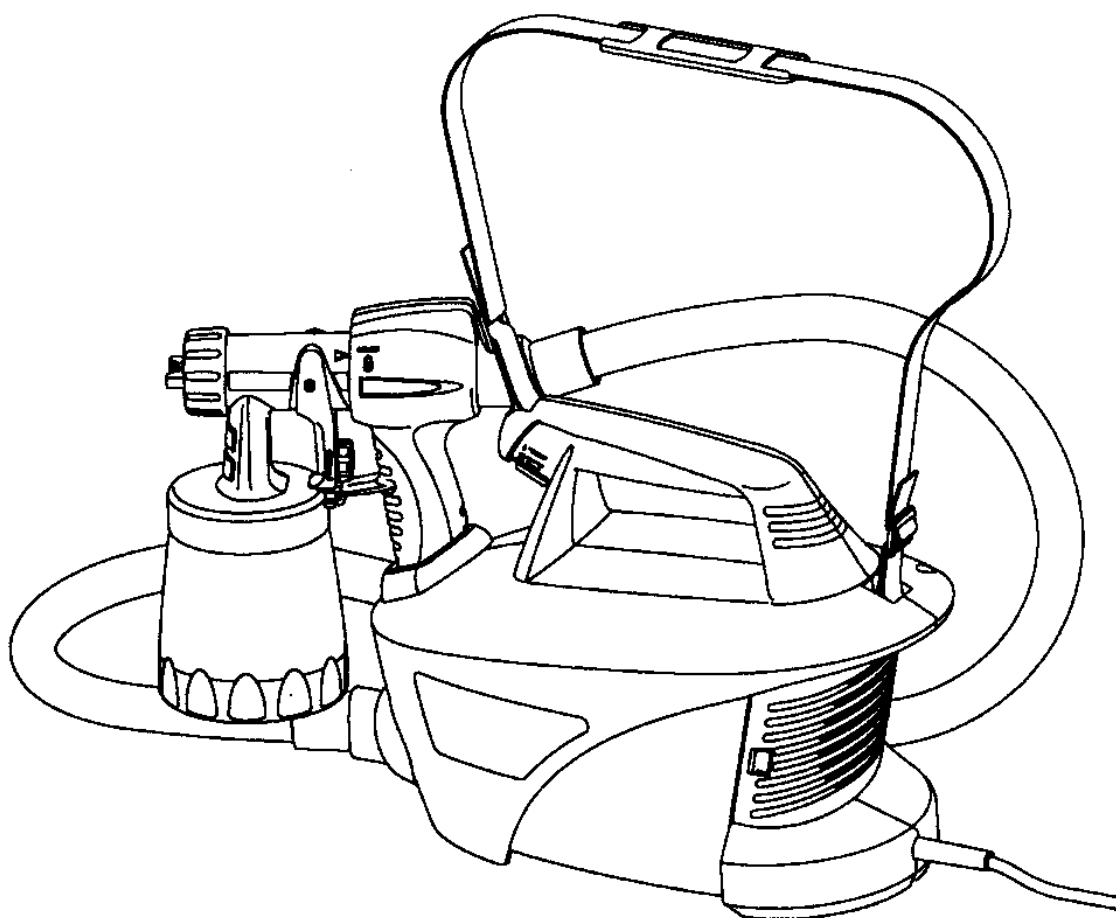
WAGNER

温風低圧塗装機シリーズ

ファインコート

W660

取扱説明書



日本ワグナー・スプレーテック株式会社

目次

ページ

1. 安全使用上の注意	1
2. 製品仕様	2
2-1. 仕様一覧及び標準セット	2
2-2. 各部名称	2
3. 使用方法	3
3-1. 塗料の粘度調整	3
3-2. ショルダーベルトの取付	3
3-3. エアーホースの取付	4
3-4. 塗料の注入	4
3-5. スプレーパターンの調整	5
3-6. 吐出量の調整	5
3-7. 塗装	6
3-8. エアーフィルター	6
4. 作業の中断及び終了後の洗浄	7
4-1. 作業の中断	7
4-2. 作業終了と洗浄	8
5. トラブルの原因と対策	9
6. アクセサリー	10
7. 分解図及び部品名称	11

※本製品は、水性塗料専用です。

⚠1.安全使用上の注意⚠

ファインスプレーW660を安全にお使い頂くために、必ず次の注意事項をよくお読み下さい。
正しい手順で扱わないと、場合によっては重大な事故を引き起こす恐れがあります。
この取扱説明書の注意事項には次の3種類の項目があります。

⚠警告

この表示は、使用者が重傷を負う、または死亡する可能性のある危険性についての“警告”が記されています。

⚠注意

この表示は、使用者が負傷する、または機器が破損する可能性のある危険性についての“注意”が記されています。

(注) 取扱説明書内で、特に注意を促す必要のある項目には(注)と記しています。

⚠警告

- 本品をご使用の前に全ての取扱説明書、ラベルをお読み下さい。
- 作業を始める前に機械を点検し、損傷・破損箇所がないか、また異音等がないことを確認して下さい。
- 国や自治体の消防、電気、安全関連の法規・規則にしたがって作業を進めて下さい。
- 本機は、本機専用の部品からのみ設計・製造されています。従ってワグナー指定以外の部品を使って本機を使用し、事故が起こった場合は、全ての責任はお客様が負うこととなります。
- スプレーガンを他人や自分の身体に向けないこと。
- 作業中断時は電源を切り、ガンカップ内に残っている圧力を抜いておくこと。
- 本機はおもちゃではありません。お子様の手の届かない所に置き、使用させないで下さい。
- 作業中負傷し、塗料が傷口に入った場合、直ちに医師の診断を受け、使用していた塗料を報告して下さい。
- 作業中は火気厳禁です。
- 作業中は十分に換気されていることを確認し、安全衛生上マスクを着用して下さい。
- 塗料メーカーの安全使用上の注意に従い、作業を進めて下さい。
- 本機に直接水をかけないで下さい。また、雨天時には直接雨水がかからないようにして下さい。
本体内部に水が入ると、感電・ショートの危険性があります。
- 塗料・洗浄液は国や自治体の法規・規則に従って処理して下さい。
勝手に側溝(下水)などに廃棄しないで下さい。処罰されることがあります。

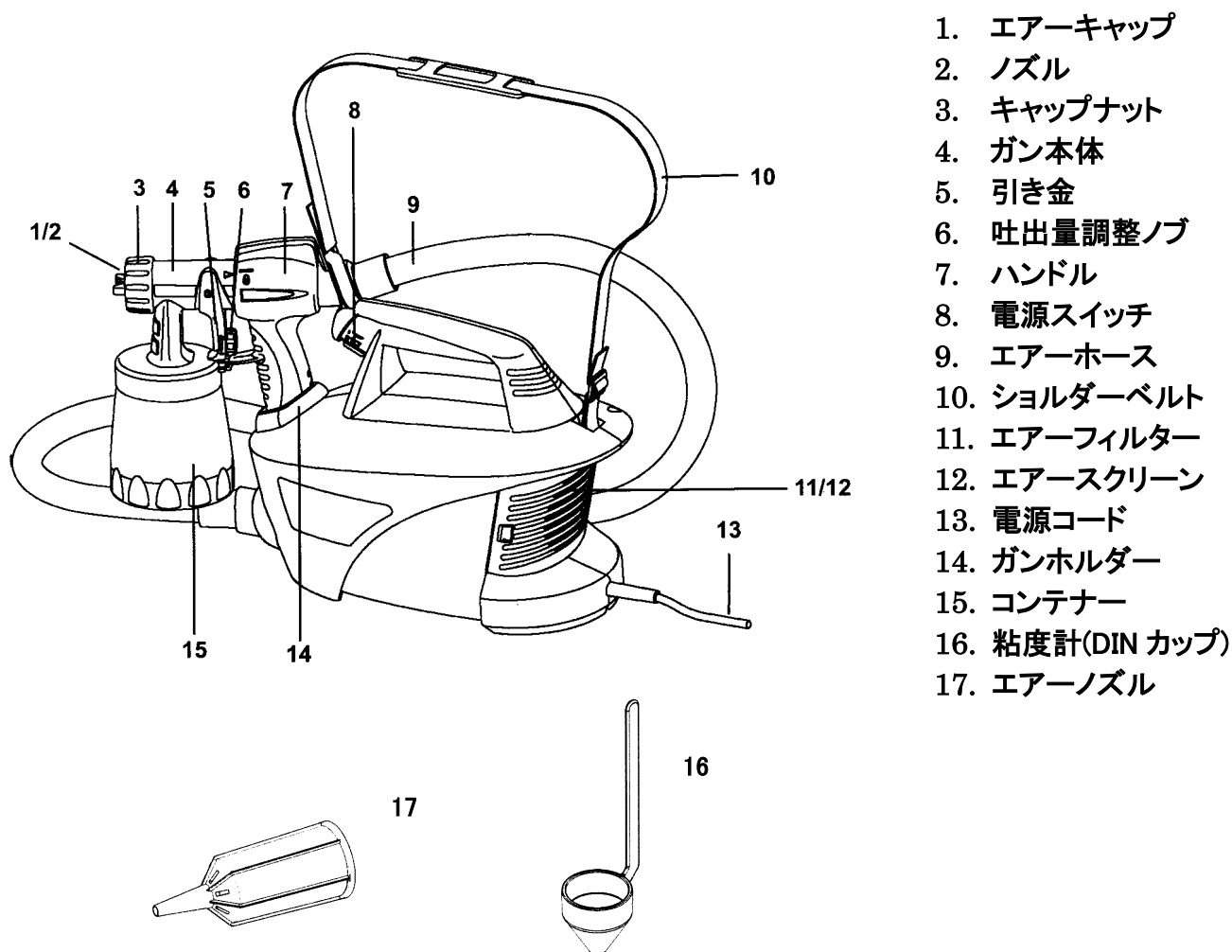
2.仕様一覧

2-1 仕様一覧及び標準セット

定格電圧	AC100V, 50/60Hz
最大消費電力	300W
最大吐出量	400cc/min(水)
最大使用粘度	45 DIN-S (170mPa)
作動音	80dB (A)
重量	3.3kg

本体		1
エアースホース	1.8m	1
スプレーガン	φ2.5 ノズル コンテナー800cc	1
粘度計	P/N 209058 (DINカップ)	1
取扱説明書		1

2-2 各部名称



1. エアークャップ
2. ノズル
3. キャップナット
4. ガン本体
5. 引き金
6. 吐出量調整ノブ
7. ハンドル
8. 電源スイッチ
9. エアースホース
10. ショルダーベルト
11. エアフィルター
12. エアースクリーン
13. 電源コード
14. ガンホルダー
15. コンテナー
16. 粘度計(DIN カップ)
17. エアースノズル

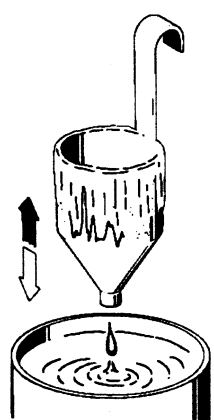
3. 使用方法

3-1 塗料の粘度調整

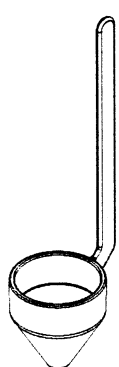
注意 

使用する塗料の仕様表を必ず確認して下さい。

1. 測る前に十分攪拌して下さい。(泡をたたせない様、攪拌して下さい)
2. 粘度カップでの測定方法(ワグナー製、DINカップ)
カップを塗料に完全に浸し、持ち上げ、底の穴から塗料が出終わるまでの時間を測ります。



50342 (オプション)



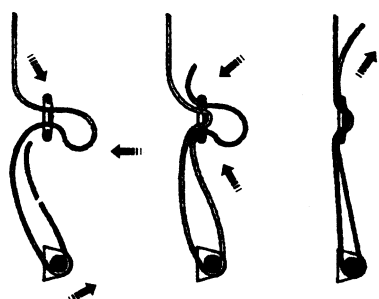
209058 (付属品)

例)

水性プライマー	80～130mPa (DIN 25～35 秒)
水性ニス	50～100mPa (DIN 20～30 秒)

注) 上記粘度調整範囲は目安です。
使用される塗料、目的によって変わります。

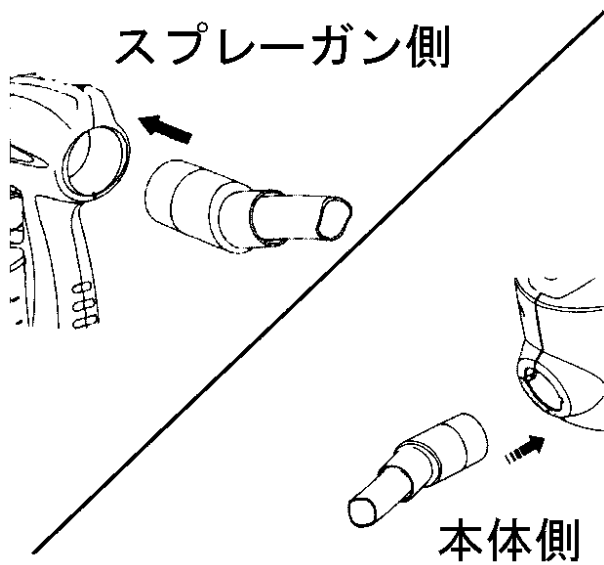
3-2 ショルダーベルトの取付



付属のショルダーベルトを使う場合
左図の要領で取付けて下さい。

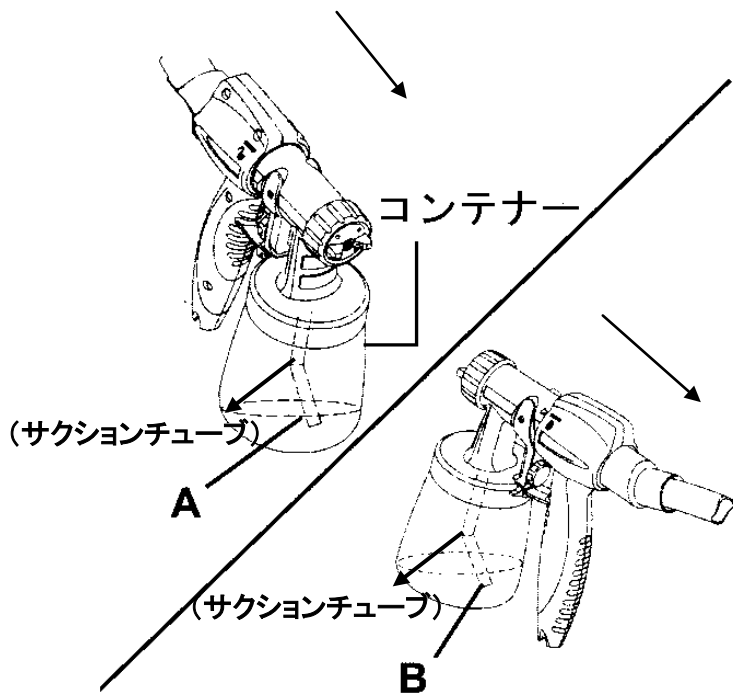
注) 正常に取り付けられているか、必ず
確認の上、肩から吊り下げて下さい。
ケガ、機械の損傷の原因となります。

3-3 エアーホースの取付



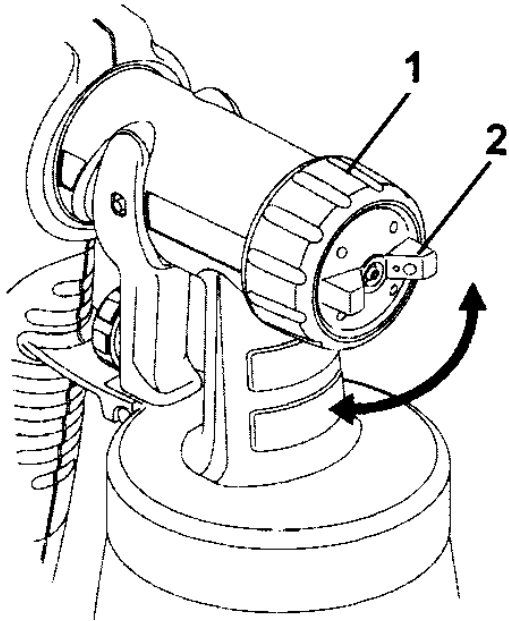
- ・ エアーホースを本体とスプレーガンに少し強めに差込んで下さい。
注) 差込みが弱いと、スプレー中に外れ、塗装出来なくなります。
- ・ 取付け位置は、自由に決められます。作業に合わせて取付けて下さい。

3-4 塗料の注入

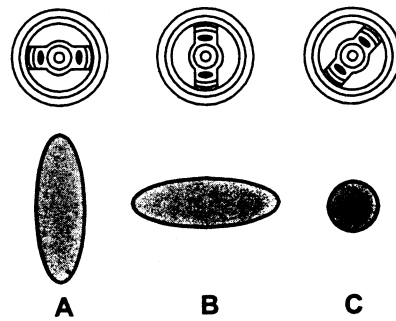


1. スプレーガンからコンテナを外します。
2. サクシオンチューブの向きを決めます。
ガン先を下面に向ける時は、前に向ける(A)。
ガン先を上面に向ける時は、後に向ける(B)。
注) 少し強めに差し込んで下さい。
3. 粘度調整した塗料をコンテナに入れ、スプレーガンに取付けます。
注) 少し強めにねじ込んで下さい。
入れ過ぎないように注意して下さい。
(MAX. 800cc)

3-5 スプレーパターンの調整



1. キャップナット(1)を少しゆるめます。
2. エアーキャップ(2)の位置を決めます。
目的に合わせ、下図のA・B・Cの位置にします。



(垂直) (水平) (丸)

3. キャップナットを締付けて、エアーキャップを固定します。

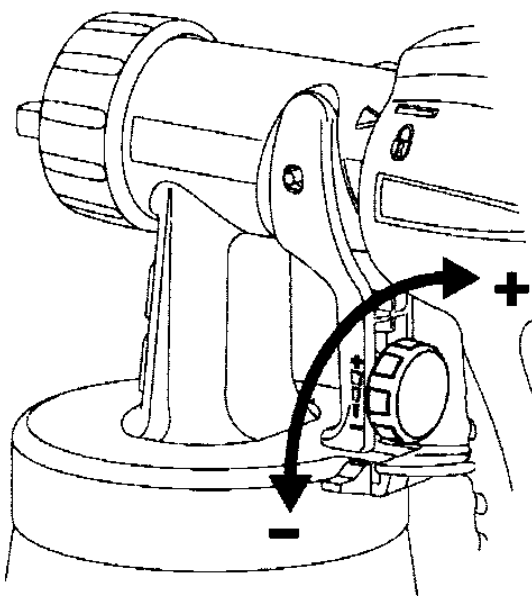
注) エアーキャップの爪の位置は、垂直・水平とも、
きっちり45°で固定して下さい。
エアーの量が少なくなります。

注意



エアーキャップの調整中に決して引き金を引かないで下さい。

3-6 吐出量の調整

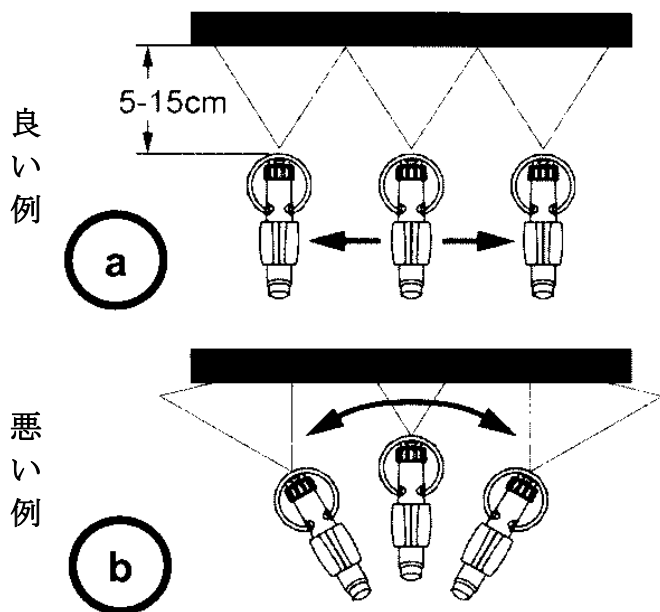


スプレーガンの引き金に付いている吐出量調整
ノブを回すことによって、調整できます。

- (+)方向(右回し)・・・より多くなる
- (-)方向(左回し)・・・より少なくなる

注) ・ノブは無理に回したりせず、
ゆっくり回して下さい。
・止まったら、その位置を確認し、
それ以上無理に回さないで下さい。

3-7 塗装



1. 試し吹きで、吐出量、スプレーパターン調整を行い、仕上がり具合を見て、塗料の粘度調整などを行います。
2. 塗装面はホコリ、油分などの無い様にし、吹き付けしない部分は養生等を行います。
3. 塗装面から 5~15cm 離し、平行に移動させます(左図(a))。平行でない左図(b)は、悪い例で端と中央部で塗りムラが出ます。
4. 塗装面の外側から吹き付け始め途中止めで、反対側へ出てから止めます。

注)・スプレーガンの移動を一定にして下さい。

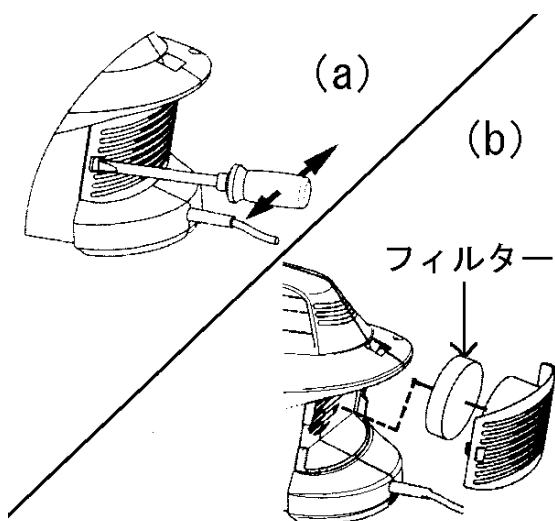
- ・手首だけではなく、腕から動かして下さい。
- ・一度に厚く塗らず、コーナーなど複雑な所から始め、2~3度塗り仕上げの様にします。
- ・塗料がエアーキャップ・ノズルの上にたまった場合、両方を洗浄液で洗浄して下さい。

3-8 エアーフィルター

注意



- ・ エアーフィルターは定期的に交換して下さい。
(エアー風量が減少し、霧化が悪くなります。又、モーターの冷却が悪くなり、故障の原因になります。)
- ・ エアーフィルター無しで使用しないで下さい。
(ホコリやゴミを吸い込み、塗装面の仕上り不良やモーターの故障などの原因となります。)



エアーフィルターの交換方法

- ・ ユニットのエアースクリーンをドライバーを使用し、外して下さい。(a)
- ・ エアーフィルターはスムーズな面を、必ず機械側に向けた状態でセットして下さい。(b)

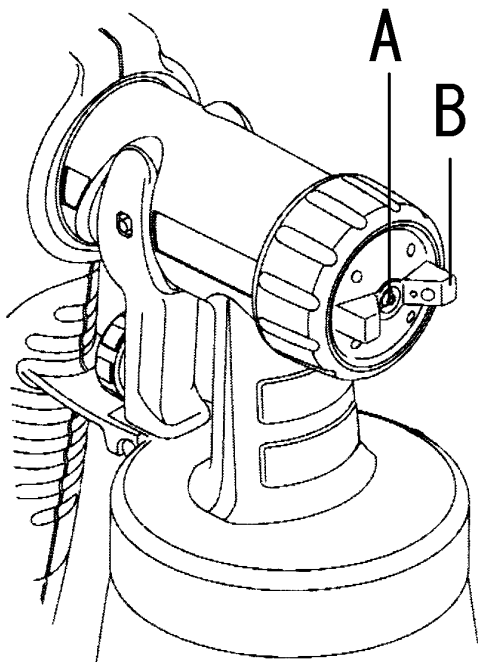
4.作業の中断及び終了後の洗浄

注意



- ・ 作業を中断する場合は、必ず電源スイッチを「OFF」にして下さい。
- ・ 長時間中断する場合は、電源コードのプラグをコンセントから抜いておいて下さい。

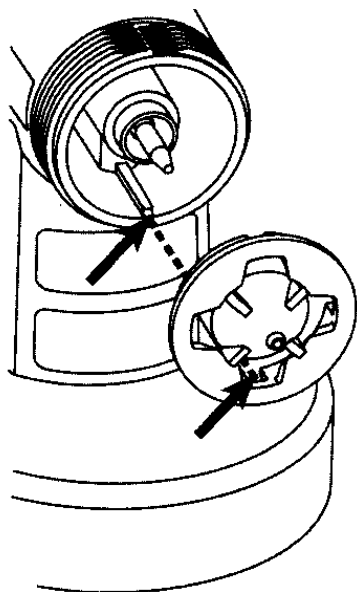
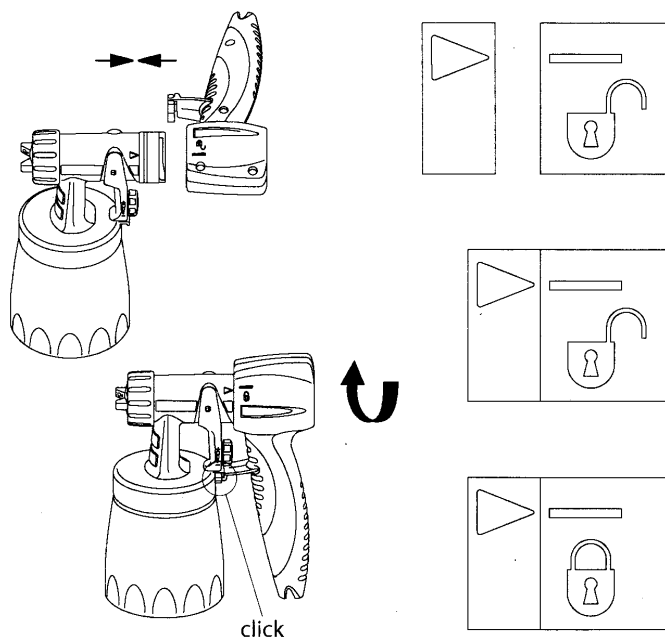
4-1 作業の中断



ノズル(A)、エアーキャップ(B)が塗料で汚れていたり、詰まった場合は、部品を外して、洗浄液で洗って下さい。

注) 樹脂製の部品の洗浄には、金属製のブラシ等は使用しないで下さい。

4-2 作業終了と洗浄



1. 電源スイッチを「OFF」にしてください。
2. スプレーガンを分割してください。
フックをゆっくり下に押してください。
ガン前部と後部をお互い反対合わせに回します。
3. コンテナをはずして残っている塗料を容器に戻してください。
4. コンテナを軽く洗い、ブラシでサクシオンチューブも洗ってください。
5. コンテナに洗浄液を入れ、コンテナを取付けてください。
6. ガンを再び組み立ててください。
7. 電源スイッチを「ON」にして、洗浄液を捨て吹きかけてください。
8. ノズルから出る洗浄液がきれいになるまで、上記手順を繰り返してください。
9. 電源スイッチを「OFF」にして、ガンを分割してください。
10. コンテナの中身を空にしてください。
11. 外観も洗浄液で浸した布で拭いてください。
12. キャップナットを外し、エアーキャップとノズルを外して、ブラシで洗浄してください。
注) スプレーガン内部のノズルシール・ノズル・エアーホースは、金属ブラシで洗浄しないでください。
13. パーツを再び組み立ててください。
(ノズルが正しい方向か注意してください。)

注) 1. 洗浄液を捨て吹きする時、開口部の小さい空き缶などには吹き戻さないでください。

2. 塗料・洗浄液は国や地方自治体の法規・規則に従い処理してください。

勝手に側溝(下水)などに廃棄しないでください。

5.トラブルの原因と対策

症状	原因	対策
<ul style="list-style-type: none"> ノズルから塗料が出てこない 	<ul style="list-style-type: none"> ノズルが詰まっている サクシオンチューブが詰まっている 吐出量調整ノブが左(-)側に回りすぎている サクシオンチューブの取付けがゆるい サクシオンチューブのつまり コンテナの取付けがゆるい コンテナに塗料が入っていない 	<ul style="list-style-type: none"> 分解・洗浄 分解・洗浄 右(+)側に回す 少し強めに差込む 洗浄 少し強めに締付ける 注ぎ足す
<ul style="list-style-type: none"> 引き金を引かないのに塗料が漏れる 	<ul style="list-style-type: none"> ノズルの締付けが弱い ノズルが摩耗している ノズルに異物が詰まっている 	<ul style="list-style-type: none"> 締付ける 交換 分解・洗浄
<ul style="list-style-type: none"> スプレー粒子が粗い 	<ul style="list-style-type: none"> 塗料の粘度が高い 吐出調整ノブが右(+)側に回り過ぎている エアフィルターが詰まっている エアホースの取付けが弱い 	<ul style="list-style-type: none"> 薄める 左(-)側に回す 洗浄もしくは交換 少し強めに差し込む
<ul style="list-style-type: none"> スプレーした塗料が垂れる 	<ul style="list-style-type: none"> 塗料粘度が低い 吐出量が多い 	<ul style="list-style-type: none"> 塗料を加え高くする 吐出量調整ノブを左(-)側に回す
<ul style="list-style-type: none"> オーバースプレーになっている 	<ul style="list-style-type: none"> 被塗物とスプレーガンの距離が離れ過ぎている 吐出量が多い 	<ul style="list-style-type: none"> 5~15cm位に近づける 吐出量調整ノブを左(-)側に回す

6.アクセサリー

粘度計	付属品(標準) P/N 209058
	オプション P/N 50342
コンテナー800cc	P/N 413909
標準スプレーガン アタッチメント (コンテナー800cc付)	P/N 417914
ローボリューム スプレーガンアタッチメント (コンテナー250cc付)	P/N 417918
ハイボリューム スプレーガンアタッチメント (コンテナー1400cc付)	P/N 417917
ラジエーター ノズルスプレーガン アタッチメント (コンテナー600cc付)	P/N 417915
エアーノズル	P/N 414329

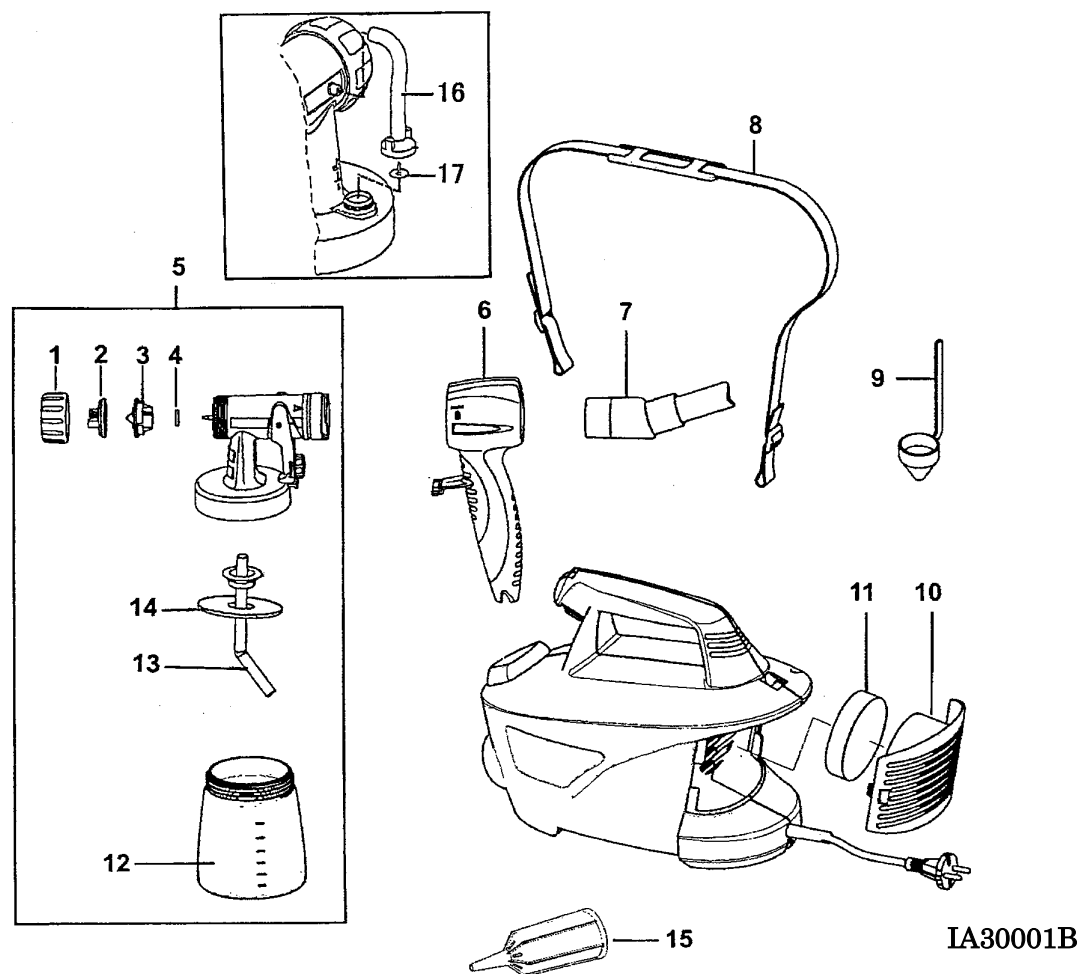
エアーノズル

エアーノズルは、ダスター用としての使用と、エアーベッドなどのレジャー用品のエアー注入に、利用することができます。



注意:エアーノズルを間違った使い方で使用しないで下さい。常に空気圧をチェックして下さい。早くノズルを抜きすぎるとダメージにつながります。

7.分解図及び部品名称



IA30001B

POS	品番	品名	数量	備考
1	417319	キャップナット	(1)	
2	414368	エアーキャップ	(1)	
3	417349	ノズル	(1)	
4	417706	ノズルシール	(1)	
5	417914	W-660 用ファインコートガン	1	
6	414240	ハンドル	1	
7	414202	エアーホース	1	
8	414204	ショルダーベルト	1	
9	209058	粘度計	1	
10	414302	エアースクリーン	1	
11	414700	エアーフィルター	1	
12	413909	800cc コンテナ	1	
13	417357	サクションチューブ	1	
14	417358	コンテナパッキン	(1)	
15	414329	エアーノズル	(1)	
16	0524208	エアーチューブ	(1)	
17	0276415	弁	(1)	

LA30001B



WAGNER 日本ワグナー・スプレーテック株式会社

本社: 〒574-0057 大阪府大東市新田西町2-35 TEL:072-874-3561 FAX072-874-3426

札幌 TEL.090-8824-4320 関東 TEL.042-379-1161 関西 TEL.072-874-3558 福岡 TEL.092-472-5533

FAX.042-379-1166 FAX.072-874-3426 FAX.092-471-8206

仙台 TEL.090-8822-5956 名古屋 TEL.0562-98-8621 鹿児島 TEL. 099-265-3806

FAX.0562-98-8623 FAX.099-265-3627

◎仕様・部品番号・価格は予告なく変更することがあります。